

広報紙

日立市女性センター指定管理者（日立市らぼーる協会）



—日立市男女共同参画
社会シンボルマーク—

らぼーるひたち

第131号

発行

2012年6月



今年も就労支援として「訪問介護員（ヘルパー）養成研修2級課程」講座を開催しています。資格取得に向けて、がんばっています。（実習の1コマ）



「アンネのバラ」が今年も見事に咲きました。

—女性センター玄関前花壇—

- 男女共同参画社会のまちづくり 拠点としての事業も着々と
- 友の会 グループ紹介①「毛糸玉の会」
- 茨城・日立を開拓いた女性たち
- ママの手作りシリーズ・父子野外料理
- H24度 講座一覧
- 女性生活相談のご案内

男女共同参画社会のまちづくり

拠点としての事業も着々と

らぼーる協会は、男女共同参画社会のまちづくりの拠点としてさまざまな事業を行っています。中でも女性の自立や社会参加の支援、DV(ドメスティック・バイオレンス)をはじめ

とした女性を取り巻く問題の解決に向けた事業などに力を入れ、成果を上げています。今年度も、社会の動きと男女ともに幅広い世代を視野に入れた運営をめざします。

女性の自立を応援

女性の自立や社会参加のための支援として、就業に役立つ講座や職業能力のステップアップを図る講座等を充実させています。

長年にわたり実施している「訪問介護員(ヘルパー)養成研修2級課程資格取得講座」や、ここ数年大きな成果を上げている「パソコン実技講座」、就職活動に役立つマナーなどを学ぶ「就労応援講座」などがあります。



生き生きと生活するために

誰もが健やかな心身で生き生きとした生活を送ることを願う「健康講座」「女子力アップセミナー」があります。また、子育て中のお母さんを対象とした「ママの手作りシリーズ」や「父子(おやこ)で学ぶ野外料理」が好評で、今年度も楽しい講座を計画しています。

「男女共同参画セミナー」では、いにしえから

今日まで、時代の先駆けとなった女性たちの生き方を学んだり、男女が共に豊かな人生を送るために何をなすべきかなどを考えていきます。

女性を取り巻く諸問題への取り組み

社会問題となっているDV防止のための啓発

や被害者支援は、らぼーる協会が設立当初から継続している大きな事業です。

DVに関する専門家を講師とした「講演会」の開催をはじめ、平成18年度にはDV被害者支援の基金も立

ち上げ、年間を通して啓発活動をしています。また、女性生活相談も行っており、女性を取り巻く諸問題解決に取り組んでいます。

女性センター利用団体の支援

現在66の団体が「友の会」に登録しています。各団体とも研修会を行ったり、らぼーる協会の諸事業への協力など、連携を広げながら活動を楽しんでいます。

友の会 グループ紹介①

一人ではできないけれど...

届け! 一針の温かさ!!

毛糸玉の会は、発足27年。メンバーは変わったけれど和気あいあいと手編みを楽しんでいます。昨年3月11日の東日本大震災後は、それぞれが心を痛め、自分たちにもできることはないかと真夏に帽子とマフラーを約1か月で編み上げ、計100点を被災地に送りました。寒さを迎える被災地の方が、少しでも暖かく過ごせるようにとの願いを込めて取り組みました。

毛糸玉の会(手編み)



講師：城下 文子先生
活動日：第1・2・3水曜日
午前10時～12時

茨城・日立を開拓した女性たち

らぼーる協会では、男女共同参画社会実現の先駆けとなった女性の生き方を学ぶため、これまで日立市を中心に「郷土の女性シリーズ」や

「女性の生き方を学ぶ講座」を開催してきました。今後も、時代を超えて活躍した女性たちを取り上げていきます。

■^{ふゆ}豊田扶雄（水戸市）

日本初の保母（保育士）。幼児・女子教育の先駆者。明治8年、東京女子師範学校（現：お茶の水大学）附属幼稚園教諭となり、保母養成の手引き書ともなる「保育の栞」を執筆。後に、茨城県高等女学校（現：水戸二高）の教員となる。

■長山はく（日立市）

明治に生きた日立市の女性画家の草分け。大正11年の第4回帝展に初入選。昭和7年の第13回帝展では作品「草原」が特選となった。

■荒川まん（日立市）

女性の自立を願い、大正14年日立市で初めて裁縫女学院を開く。昭和6年には助川高等家政女学校が認可され裁縫学校と併設、学校長に就任する。学校はその後、私立高校へと発展する。

■小沢ツル（日立市）

日立市初の女性市議会議員となった。

※これまでの講座で取り上げた主な方々

明治

大正

昭和

■^{とき}黒澤登幾（城里町）

日本の女性教師第1号。若くして夫と死別、行商などで家計を支えながら勉学に励む。幕末の混乱の中、謹慎処分となった徳川斉昭の無実を訴えるため、安政6年（1859年）京に上る。帰郷して私塾で教え、明治維新後は学制発布により自宅を小学校に解放、68歳で教師となる。



■^{もとこ}徳川幹子（水戸市）

茨城県婦人会館初代理事長。徳川慶喜の孫。大正9年（1920年）に一橋家徳川宗敬氏と結婚後、全日本・県開拓者同盟婦人部長として活躍。女性の活動拠点設立に尽力。

■^{みね}石垣美根・海野あきの（日立市）

日立市で女性による更生保護活動を始めた。石垣美根さんは昭和37年茨城県更生保護女性連盟の会長に、海野あきのさんは昭和50年事務局長、昭和59年に会長を努める。

託児付き

ママの手作りシリーズ パート1

「簡単おやつ作り」

日時 平成24年7月13日（金）
10:00～正午
内容 子どもの喜ぶ簡単なおやつを作ります
講師 島田久美子さん
参加料 1,000円（材料費含む）
対象 子育て中の母親
募集 先着15名 《市報6/20号で募集》
申込み 6月25日（月）9:30から電話で

講座の案内

^{おやこ}父子で学ぶ野外料理

日時 平成24年7月21日（土）
9:00～13:00
内容 火起こしから始め、緊急時に炊くご飯・ピザ・スープ・簡単デザートなどを作ります
講師 ボーイスカウト指導者
参加料 2,200円（材料費・保険料含む）
対象 小学生以上の子と父親
募集 先着15組 《市報6/20号で募集》
申込み 6月26日（火）9:30から電話で



H24年度の講座

託児無料

講座名	日時	内容	《市報掲載号》
女子力アップセミナー	5/18～6/1	全3回	※終了しました
訪問介護員養成研修2級課程	5/23～8/22	全29日	※開講中
「ツイッターやフェイスブックを楽しもう！」	6/8～7/27	全7回	※開講中
資格取得準備講座 「エクセルMOS検定受験に向けて」	6/12～7/12	全10回	※開講中
普通救命講習 - AEDを使って -	6/12 (火)		※終了しました
トータルで学ぶ就労応援講座 「初心者向けパソコン Word 編」	6/25～7/23	全8回	※募集終了
ママの手作りシリーズ パート1 「簡単おやつ作り」	7/13 (金)	受付日: 6/25 (月) 対象: 子育て中の母親	《市報 6/20号》
父子(おやこ)で学ぶ野外料理 (於: 会瀬青少年の家)	7/21 (土)	受付日: 6/26 (火) 対象: 小学生以上の父と子	《市報 6/20号》
普通救命講習会 - AEDを使って -	7/28 (土)	受付日: 7/11 (水)	《市報 7/5号》
ドメスティック・バイオレンスを考えるパート14	8/8 (水)	随時受付	《市報 7/5号》
ママの手作りシリーズ パート2	9月予定	「スクラップブック作り」	
トータルで学ぶ就労応援講座	9月予定	全3回	
健康講座	9/29 (土)	体力が気になり始めた方へ	《市報 9/5号》
起業セミナー「女性のための創業塾」	10～11月頃	未定	
男女共同参画セミナー	11月予定	全2回	
ママの手作りシリーズ パート3	11月予定	「手づくりアロマとハンドマッサージ」	
世の中の動きを知る講座「今を知る 先を読む」	12月予定	未定	
免疫力を高める料理	1月予定	未定	
ママの手作りシリーズ パート4	2月予定	「かんたんおやつパン作り」	
歴史講座	2月予定	幕末から明治の女性たちを取り上げる	

※詳細は、市報やチラシ、ホームページなどをご覧ください。日程や内容が変更になる場合があります。

女性生活相談のご案内

日常生活の中で生じるさまざまな家族の問題や近隣とのトラブル、悩み事や困っていることなどがある方はご相談ください。女性相談員が対応します。まずは、お電話を。秘密は守ります。

曜日：月～金曜日 および 第2・4土曜日

時間：10時～正午・13時～16時

電話：0294(35)2215(直通) ※面談もできます



温かな雰囲気の相談室

●発行/日立市らぼーる協会(日立市女性センター内)

〒316-0036 日立市鮎川町1-1-10 TEL 36-0554・Fax 38-2460

ホームページ <http://www.rapporthitachi.jp/> ツイッター @rapport_hitachi